

地域再生計画評価調書(地方創生推進交付金事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画	地域再生事業の名称	「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進事業	平成29年度評価
-----------	------------------------------	-----------	------------------------------	----------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標		基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度					達成度についての分析
				2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	最終年目標数値 2018年	
目標1	観光入込客数	2,841 千人	目標	+29 千人 (2,870 千人)	+30 千人 (2,900 千人)	+40 千人 (2,940 千人)	+99 千人 (2,940 千人)	目標1については、しまなみ海道や村上海賊の認知度が上がっていることもあり、前年度より1.3%上がった。 目標2のレンタサイクル利用件数については、前年度より6.5%増加している。前年度は、9月の行楽シーズンに週末ごとに天候が悪かったため、貸出実績が大幅に落ち込んだが、平成29年度は、10月の台風の影響があったものの、貸出実績は順調に推移した。 目標3については、前年より13.8%増えているが、この要因については、しまなみ海道サイクリングの取組が各種媒体へ露出され、海外でも瀬戸内しまなみ海道の認知度が上がってきていることが考えられる。
			実績	▲60 千人 (2,781 千人)	+37 千人 (2,818 千人)		▲23 千人 (2,818 千人)	
			達成度	▲206.9%	123.3%		▲9.6%	
目標2	レンタサイクルの利用件数	67,012 台	目標	+2,988 台 (70,000 台)	+4,000 台 (74,000 台)	+5,500 台 (79,500 台)	+12,488 台 (79,500 台)	
			実績	▲4,664 台 (62,348 台)	+4,029 台 (66,377 台)		▲635 台 (66,377 台)	
			達成度	▲156.1%	100.7%		▲2.3%	
目標3	外国人宿泊客数	15,540 人	目標	+320 人 (15,860 人)	+340 人 (16,200 人)	+360 人 (16,560 人)	+1,020 人 (16,560 人)	
			実績	+2,837 人 (18,377 人)	+2,529 人 (20,906 人)		+5,366 人 (20,906 人)	
			達成度	886.6%	743.8%		526.1%	

評価年度において実施した事業

事業名	サイクリングターミナル基本設計等委託料	総合戦略における位置づけ	基本目標：3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策：(ア)サイクルシティ構想の推進 取組：①サイクルステーション構想推進	事業費	7,478千円
事業概要		サイクリングターミナルの整備を行うにあたり、昨年度策定のサイクリングターミナル基本計画でまとめた施設配置、規模、構造等の整備方針に沿って、レンタサイクル保管庫、トイレ、更衣室など、サイクリストの聖地の拠点施設に相応しい施設整備に向けた基本設計等を実施した。 ■委託先：K・T・M共同企業体、株式会社サンコー設計			
事業効果		自転車保管庫の規模、構造、配置及びその他の施設機能について、既存施設との連携を図りながら、利用者の利便性、職員の動線に配慮した基本設計が行われた。基本設計ができたことにより、次のステップである、建築物の実施設計にスムーズにつなぐことができる。			

事業名	愛媛県等と合同で設立したサイクリング施策推進のための各種協議会の運営費	総合戦略における位置づけ	基本目標：3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策：(ア)サイクルシティ構想の推進 取組：②サイクルツーリズム構想推進③おもてなし構想推進④サイクルプロモーション構想推進	事業費	7,267千円
事業概要	(1) サイクルトレインの運行 瀬戸内しまなみ海道利用促進のため、JR予讃線の松山・今治間で自転車をそのまま積み込むことができるサイクルトレインを運行しているしまなみサイクルトレイン利用促進協議会に負担金を支出。 (2) サイクリングガイドの養成 瀬戸内しまなみ海道を訪れるサイクリストやツアー客に対し、観光案内にとどまらず、サイクリングの行程管理や安全空間の確保、メカニックス的なサポートをするサイクリングガイドを養成する愛媛県サイクリングガイド養成推進協議会に負担金を支出。 (3) 国際サイクリング大会の開催 サイクリストの聖地としてのブランドイメージを高め、交流人口の拡大による地域の振興・活性化を図るため国際サイクリング大会を開催する瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会に負担金を支出。				
事業効果	(1) しまなみサイクルトレインは、春、4月1日から5月28日の土日祝日に21回、秋、9月2日から11月12日の土日祝日に14回、30年春、3月17日から3月31日の土日祝日に6回の計41回運行し、利用者数は337人であり、昨年度と比べて大幅な減少となったが、西条便を設置したことにより新たな誘客ルートの創出に効果があった。 (2) サイクリングガイド養成講習会を7回実施し、参加者に対しサイクリングガイドに必要な法知識の習得及び実走にあたっての誘導方法の訓練を行った。12名が受講し、そのうち4人が公益財団法人日本サイクリング協会が認定するサイクリングガイド検定に合格した。サイクリングガイドを養成することにより、多様化する団体のツアーガイド要請に対応が可能となったり、旅館・ホテル業の付加価値サービスとして提供することによる雇用の場の創出又は移住者の起業など新たなビジネスの展開が可能となる。 (3) 平成30年10月28日に国際サイクリング大会サイクリングしまなみ2018が開催される。7,000人が参加する4年に一度の大規模大会であり、国内で唯一、通行止めにした高速道路を走るイベントであるため、国内外から多数の出場希望者が見込まれている。平成29年度においては、サイクリングしまなみ2018実行委員会の設立総会、実行委員会、企画部会を開催し、推進体制を整えるとともに、大会運営計画の策定、自転車情報誌でのPR広告、自転車イベント等でのPR活動や大会ホームページ作成等を行い、大会開催告知及び事前周知ができた。				
事業名	「愛媛サイクリングの日」イベント運営委託料	総合戦略における位置づけ	基本目標：3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策：(ア)サイクルシティ構想の推進 取組：④サイクルプロモーション構想推進	事業費	460千円
事業概要	県、市町が協働して「チーム愛媛」でサイクリングに関するイベントを県内各地で開催することによって、健康・生きがい・友情を育む「自転車新文化」を普及するとともに、内外に広く発信することにより交流人口の拡大を図るために「愛媛サイクリングの日」を平成27年度から設定し、県内の全市町において一斉に、サイクリングに親しみ楽しめるイベントを開催している。今治市においては、11月12日に「SHIMANAMI自転車ふれあい広場」を市内ショッピングモール周辺で開催。メイン会場ではニューモデルのスポーツバイクや電動アシスト付自転車等の試乗会や子供向けキックバイク走行体験等を実施。サブ会場においては、オフロード自転車でのパンptrackの走行体験を実施。その他、サンライズ糸山において子ども用レンタサイクル無料貸出や今治サイクリング協会が秋季市民サイクリング大会を同日開催した。 ■委託先：原印刷株式会社				
事業効果	市内外から446人の参加があり、交流人口の拡大に一定の効果があった。また、普段スポーツ自転車に触れたことがない市民の方々に対しても、自転車に親しみ、サイクリングを楽しむ体験の場を提供することができ、スポーツ自転車乗りのすそ野を広げることに効果があった。				

外部有識者からの意見	
☒ 総合戦略のKPI達成に有効であった ☐ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない (意見)	
各種施策展開の効果により、数値上の目標達成が出来ている一方で、インバウンドを含めたサイクリストへのソフト面での受入態勢を更に強化することが重要である。サイクリストが立ち寄る拠点におけるインフォメーション機能の充実や各方面における多言語対応など、リピーターを確保する取組についても必要であるとする。	